

東京大学運営方針会議（令和7年度第6回）議事要旨

1. 開催日：令和8年3月26日（木）
2. 場 所：安田講堂2階大会議室及びオンライン（Zoom）
3. 出席者：藤井、相原、菅野、林、後藤、村本、山本、Welser、Gruss、武田、
程、本田、Mehta 各委員
欠席者：野田委員
4. 議題
 - 1 令和8年度予算の審議
 - 2 令和8年度年次資金繰計画の報告
 - 3 本学におけるリスクガバナンス改革の対応状況報告
 - 4 国際卓越研究大学申請に係るアドバイザリーボードからの指摘への対応状況報告【非公表】
 - 5 その他
5. 配付資料
 1. 令和8年度予算計画（案）
 2. 令和8年度年次資金繰計画
 - 3－1. リスクガバナンス強化に向けた対応方針
 - 3－2. 全学リスクポリシー（案）
 4. アドバイザリーボードのご意見への対応状況【非公表】
 5. 令和8年度運営方針会議日程
6. 議事
 - 1 令和8年度予算の審議

菅野委員より、資料1に基づき、令和8年度予算編成の考え方、収入及び支出の見通しや全学的な赤字見込み等について説明があった。これを受け、病院事業における収支構造や運営費交付金の当初予算・補正予算をめぐる不確実性、赤字が継続した場合の大学運営の持続可能性等を中心に、質疑応答及び意見交換が行われた。

審議の結果、令和8年度予算については、原案のとおり了承された。あわせて、秋頃を目途に私立大学や海外大学における予算運営のグッドプラクティス等を踏まえた検討・意見交換の機会を設けること、さらに来年度以降は12月又は1月頃を目途に次年

度予算についての議論を行うことが確認された。

2 令和8年度年次資金繰計画の報告

菅野委員より、資料2に基づき、令和8年度における四半期ごとの資金収支の見通し、期首および期末における資金残高の推移について報告があった。

これを受け、資金繰りの見通しやその留意点について、質疑応答および意見交換が行われた。

3 本学におけるリスクガバナンス改革の対応状況報告

藤井総長より、資料3に基づき、本学におけるリスクガバナンス改革の対応状況について、CROの設置やリスク・コンプライアンス統括部の新設を含む新体制の概要、三線防衛体制に基づくリスク管理の考え方並びに今後の取組の方向性等について報告があった。これを受け、国際的なコンプライアンス標準との整合性、リスク及びコンプライアンスの位置づけの整理、第三者モニタリングの在り方、並びに学内におけるリスク認識・コンプライアンス意識の醸成等について、質疑応答及び意見交換が行われた。

4 国際卓越研究大学申請に係るアドバイザリーボードからの指摘への対応状況報告 【非公表】

藤井総長より、国際卓越研究大学申請に係るアドバイザリーボードからの指摘への対応状況について説明があり、次いで意見交換が行われた。

5 その他

事務局より、資料5に基づき、次回以降の運営方針会議の開催日程について説明があった。

次いで事務局より、議題4「国際卓越研究大学申請に係るアドバイザリーボードからの指摘への対応状況報告」に係る議事及び配付資料について、申請内容や今後の審査に影響を及ぼすおそれのある事項を含むため、東京大学運営方針会議の運営に関する了解事項第2条第1項に基づき非公開とすることが提案され、審議の結果、了承された。

最後に事務局より、委員1名（山本委員）が交代予定であり、後任の委員については今後選任手続きを進めることについて報告があった。

以上